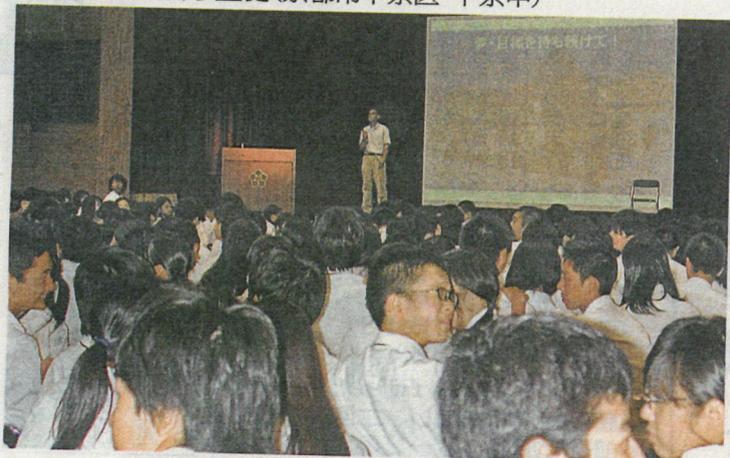


2012年(平成24年)

9月4日

火曜日

山崎さんからの問いかけに、顔を見合わせて
考え合う生徒(京都市下京区・下京中)



「夢追い続けて」 極地探検家講演

下京中、生徒ら聴き入る

大ぞり北極探検家の山崎哲秀さん(44)の講演会が3日、下京中学校(下京区)であり、生徒ら約580人が耳を傾けた。

山崎さんは兵庫県生まれ。洛南高校(南区)を卒業し、植村直己に憧れて冒険家を目指した。1989年から北極圏などで探検活動を始めた。現在は環境保



護や調査の活動にも参加している。

講演では、北極圏に住む民族の暮らしぶり、地球温暖化が北極に及ぼす影響などを写真を使って説明。生徒たちに「夢や目標を追い続けることを忘れないでほしい」とメッセージを送った。

3年生で生徒会長の中川知哉君(15)は「自分も頑張る気持ちを忘れないようにしたい」と話した。

(藤智広大)



極北の暮らしぶり紹介

下京中 探検家・山崎さん講演

生命と自然を学ぶ講

の一環。

演「極地に挑む」が3日、京都市下京区の下京中で開かれた。探検家山崎哲秀さんが北極での観測活動や生活を語り、生徒は貴重な体験談に聞き入った。

山崎さんが、周囲に反対されながらも北極遠征を始めた経緯を語り、厳しい寒さの中で生きるイヌイットの衣食住や極北の地の生活を重要な犬ぞりの様子をスライドで伝えた。

東日本大震災を受け、生徒が地球環境や命の大切さを学ぶ同中の「命プロジェクト」

温暖化の影響で、割

がり、九死に一生を得たエピソードも紹介。「皆も夢を諦めず、何事も継続を」と生徒にエールを送った。

2年生丸山杜季さん(14)「下京区」は「イヌイットの狩猟の写真に驚いたけれど、命に感謝して暮らしているんだと感じた」と話した。

落ちながら自らはい上

(今野表)